

## u の音



日本の学生の発音を観察していると、u の音に関しては三つのタイプの誤りが存在することに気付きます。一つ目は日本語の癖によるもので、u があまり口を開かず、唇を丸めずに発音されてしまうパターンです。日本語の「う」の発音が、「平たい」もしくは「閉じた」音であるという説明をよく見かけます<sup>16</sup>。ポーランド人の耳には、このように発音された「う」の音は、ポーランド語の y と u の中間音のように聞こえてしまうのです。また、平たい u の音は、前後の子音の発音にも悪い影響を与えてしまいます。

---

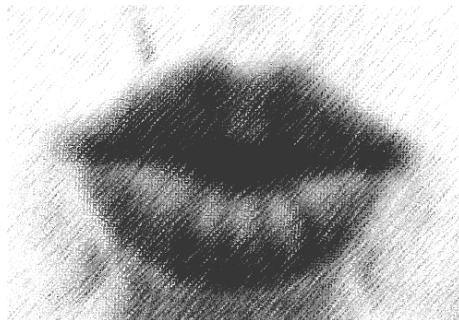
<sup>16</sup> R. Huszcza, M. Ikushima, J. Majewski (2003)を参照のこと。

二つ目の誤りは、u の音が無声化して発音されるものです。これが最も頻繁に起こるのは語末で、例えば w dom(u), na Wawel(u), na przystank(u), nie mam paszport(u), od raz(u), po polsk(u), z bok(u), na trening(u)などが挙げられます。同様に、語末に限らなくても、母音が消えてしまうことがあります。例えば iść prost(o), pracował jak(o) lekarz, wiad(o)mość, d(o)robek, jed(y)nie, koł(y)ska, k(u)chnia など。

そして三つ目は、ポーランド語では現れないにもかかわらず、子音群に余分な u を付け加えてしまうという誤りです。これもまた語末に現れがちで、sz[u]łam, minist[u]rze, p[u]taki, byłam[u], pojechałam[u], wiem[u], liceum[u] などが例として挙げられるでしょう。



ポーランド語の u を調音するにあたって重要な役割を果たすのが唇です。前に突き出し、小さな丸を形作るようにします。u の発音の時に口がどんな形になっているか、下の写真で確認して下さい。ポーランド語で u の音は常に有声音です。



u の音



I. いわゆる平たい u の発音をしてしまっている場合。

1. 鏡の前に座りましょう。
2. 唇を慣すために、第一章にのっている唇の運動感覚・筋肉訓練をいくつかやってみてください。
3. 少し誇張した調音方法で発音していきましょう：a（とても広く口を開く）、o（口を丸め、小さな丸を形作るようにする）、u（口を最も前に突き出して丸め、とても小さな丸の形を作るようにする）
4. 唇の形を変えずに、長く uuuuuu... と発音してみましょう。
5. 次に音節単位で uku, ugu と発音しましょう。この時も、常に鏡で唇の形を確認しながら。
6. 本章第一部の「ポーランド語に関する注意」の二番目にのっている、唇の正しい形を

確認するための練習をしてみましょう。

II. ポーランド語には無声化した u が現れないので、ポーランド語ではどの母音も有声で発音され、u の発音に特に注意を払うということさえ意識していれば十分でしょう。単語を *psz- por- tu, Wa- we- lu, do- mu* のように、音節ごとに区切るのも役に立つかも知れません。語末に u を付けなければ、最後に余分な音節ができてしまうこともありません。

III. 誤りの三番目のパターンは、子音群に余分な u を付け加えてしまうというものでした。恐らく u を挿入することで、子音の塊を発音するのが楽になるからでしょう。つまり、必要なのは、自分にとって難しい音の組み合わせをよく練習するという事なのです。そうすれば u の発音の問題も自然と解決されるでしょう。



uku, ugu



uniwersytet, ulica, ubranie, uczyć się, umieć, urodziny, uspokoić się, uśmiech, ucho, usta, uważać, umyć, ulubiony, udawać, uciekać, upalny, uprzejmy, tutaj, lubił, pokój, twój, mój, mówiła, duży, ludzie, kupuje, krótki, córka, który, ogórek, późno, powtórzył, gruby, trudny, pusty, gotuje, maluje, zajmuje, częstuje, burza, wieczór, różny, sposób, chłopców, artystów, zeszytów, góra, sytuacja, smutny, zupełnie, zupa, szukał, Kraków, róża, kukulka, chmury, w domu, z boku, na przystanku, od razu

少年達の誕生日に遅れないように努力します。

ガイドはヴァヴェル城についてたくさん話した。

もうポーランド語が大分理解できる。

今パスポートを持っていないのが悔やまれる。

芸術家達に会えるという通りを、長々と探した。

退屈や悲しみへの私の対処法は、山への逃避だ。

弁解と、丁寧なお辞儀によって難しい状況を切り抜けた。

旅行は、それがうまくいけば尚のこと、あなたのささやかな成功になるでしょう。

熱帯夜には、彼はカッコウの鳴き声を聞くのが好きでした。

トレーニングの後は真っ直ぐ家に帰ります。

ウラはよくスープを作り、皆に振る舞う。

落ち着いて、ここで騒ぎを起こさないで。

クラクフには観光客をすぐに魅了する力がある。

庭の端にある、あの遅咲きのバラが大好きだ。



時に、u の音が単語の意味を決定することがあります。以下の二つの言葉を比べてみて下さい。

kupić [買う] - kpić [あざける]

puchnąć [腫れる] - pchnąć [押す]



語末の u を無声化して発音してしまうことに発する音声的な誤りは、文法的な間違いのように聞こえてしまいます。

Przewodnik opowiadał o Wawel(u).

[ガイドはヴァヴェル城について話した：wawel 主格に対して wawelu 前置格]

Wracam do dom(u). [私は家に帰る：dom 主格に対して domu 前置格]

Chcę rozmawiać po polsk(u). [私はポーランド語で話したい]

---

<sup>17</sup> Wierzchowska B. (1971)を参照のこと。